



# 〈公開〉作品にみる生と死Ⅱ

死生学研究所

- 会場 東京都港区六本木5-14-40 □最寄駅 六本木駅(日比谷線徒歩10分) □参加費無料・申込み不要  
 新マーガレット・クレイグ記念講堂 麻布十番駅(大江戸線徒歩5分) □全て自由席  
 (東洋英和女学院大学院隣り) (南北線 徒歩7分)

## 第1回 連続講座

## 河野和雄 (こうの かずお)

本学院オルガニスト

4月17日(土)  
15:00-16:30  
(開場14:30から)

### オルガンとハンドベルによる レクチャーコンサート 哀しみと喜びの音楽



#### ■プロフィール

東京藝術大学修士課程修了(器楽研究科、オルガン専攻)。ウェストファールン州立教会音楽大学に留学、オルガン、指揮法を学ぶ。キリスト教音楽学校、日本聖書神学校非常勤講師。日本キリスト教団田園調布教会オルガニスト、聖歌隊およびハンドベル指揮者。

#### ■主要業績

国内各地、ドイツで演奏活動を行う。「ブラームスのオルガン音楽」『礼拝と音楽』32号、日本基督教団出版局、1982年。「賛美歌の自由な前奏および多様な伴奏」東洋英和女学院中学部高等部編『論叢』20号、東洋英和女学院、1996年。「オルガンの歴史」『形成』滝野川教会、2003年9月~05年10月。「エーバーハルト・クラウス『オルガンとその音楽』」太田良子・原島正編『私が出会った一冊の本』新曜社、2008年。

内容紹介：哀しみ、喜びを表現した音楽によるコンサートです。キリストにおいて生きる喜びを歌った讃美歌をもとにしたオルガン曲、ハンドベルでは親しいハンドベル仲間の死に際して作曲された追悼曲、またホルスト作曲、組曲「惑星」から「悦びの星」との副題をもつ「ジュピター」を連弾で演奏します。

福本久子：東洋英和女学院中高部英語科教諭くジュピター第1オルガン>

三保の森リンガーズ：東洋英和女学院大学生涯学習センターの講座「楽しいハンドベル」受講生。学内の礼拝、フェスティバル等で演奏する他、昨年12月には霊南坂教会のチャペルコンサートで演奏した。

演奏曲目：アラン/リタニー、ホルスト/組曲「惑星」よりジュピター(連弾)、ペッピング/「我ら生の只中において」によるトッカータとフーガ、バッハ/「主よ、人の望みの喜びよ」、ペイン/エレージー、シャーマン/グラツィオーゾ、ベートーヴェン(ケラー編曲)/喜びの歌他



〈既刊〉 2,500円+税 一般書店でご注文・ご購入いただけます  
 東洋英和女学院大学 死生学研究所編 (リトン刊)

総合学としての死生学の可能性  
渡辺和子

ソクラテスとイエスにとって死は何を意味したか？  
—プラトンのソクラテスとヨハネ福音書のイエスの場合—  
三上 章

ガンダーラ仏教美術における生(俗世間)と死(出世間)  
田辺勝美

死の舞踏の成立と伝播  
小池寿子

袋=胞衣を被った子どもたち  
—誕生・結婚・葬送の民俗と神話・昔話—  
古川のり子

死後世界の再検討  
津城寛文

ある子どもの理解  
—ヘレン・ケラーがはじめて「死」と出会った時—  
ミリアム・T. ブラック

再生医療技術への宗教の関わり  
—ES細胞・PS細胞研究における「全能性」をめぐる—  
大林雅之

〈講演録〉がんと共に生きる  
—死と向かいあってわかったこと—  
真家年江

Annual  
of the Institute  
of Thanatology,  
Toyo Eiwa University  
死生学年報

●死生学の可能性  
2009  
東洋英和女学院大学  
死生学研究所編



LITHON

死生学年報2009  
死生学の可能性

第2回 連続講座 5月22日(土) 16:20-17:50  
大井 玄 東京大学名誉教授  
終末期医療医から見た存在と時間

〈新刊のご案内〉  
東洋英和女学院大学 死生学研究所編  
『死生学年報2010 死生観を学ぶ』

お問合せ先  
東洋英和女学院大学死生学研究所  
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp  
03-3583-4035 (fax専用)